報

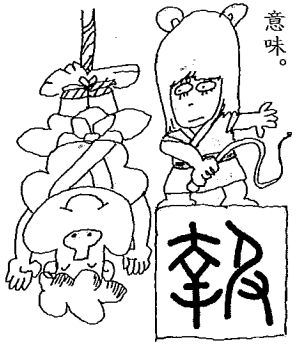
【5年】

12画

土 幸 圭 幸 報 報 報

はねる

くん むくいる　おん ホウ



なりたち 人が逆さ吊（ㄗ）りの刑に処せられた形の夰と、人をとらえて従える意味の艮との会意字で、罪を犯した者をとらえて〝罪の報い〟に処刑することを表した字。転じて、単に〝報いる〟意味。また、処刑を告知するので、〝知らせる〟意味。

いみとじゅくご

▼罪の報い。仕返し。
報復…仕返しをすること。例報復手段
▼報い。報いる。返す。
報恩…恩に報いること。受けた恩を返すこと。
報酬…仕事や努力などに対するお礼。
▼業の結果としての報い。
応報…前世や過去にしたことに対する報い。果報。例因果応報
▼知らせる。知らせ。
報告…告げ知らせること。また、その知らせ。例事後報告
報知…（一般に）告げ知らせること。報道。
吉報…良い知らせ。反凶報
警報…危険に対して警戒させるための知らせ。

よみかた 報奨・報償・官報・広報・公報・誤報・詳報

執

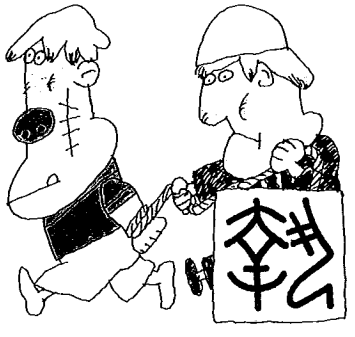
【5年】

11画

十 圭 圭 執 執 執

はねる

くん とる　おん シツ・シュウ



なりたち 人が逆さ吊（ㄗ）りの刑に処せられた形の夰と、人をとらえて両手を縛った形の丮（丸とは別字）との会意字。処刑すべき罪人を〝とらえる〟ことを表した字。転じて、広く〝手にとる〟意味に用いる。

いみとじゅくご

▼とらえる。とらえて放さないこと。
執心…心をとらえる意味で、物事に熱中すること。他のことに心が向かない状態。
執着…一つの事にとらわれて、心がそのことから離れられない状態。「着」はくっ付いて離れない意味。
執念…執着の念。したいと思う心を固くいつまでも思い続けて諦（あきら）めないこと。
▼執る。（手に執る。）
執筆…筆を執って書くこと。
執刀…刃物を執り手術すること。
執務…事務を執ること。仕事をすること。
執行…執り行うこと。
執事…事務を執行する人の意味で、貴人を補佐する人の称。

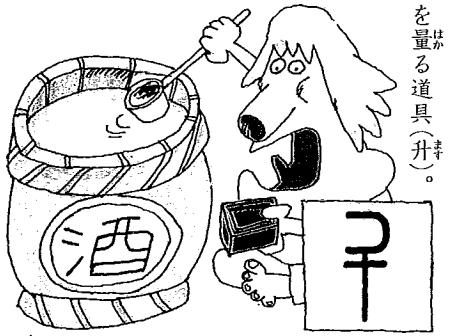
斗

4画

一 ㇇ 斗 斗

ななめに

くん　おん ト



なりたち 柄杓（ひしゃく）の形をかたどり、柄杓の意味を表した象形字。酒や水を汲（く）む道具。転じて、酒や水などの容量の単位（十升）。また、容量を量る道具（升）。

いみとじゅくご

▼斗（十升）。
斗酒…一斗（十升）の酒。わが国では十八リットルに当たるが、中国周代では一・九四リットルに当たる。多量の酒、という意味。用例斗酒なお辞せず。（一斗の酒でも遠慮せず頂く。）
▼水を汲（く）む（注ぐ）道具。
漏斗…口の狭い容器に液を入れる時に使う朝顔形（▽）の道具。じょうご。
▼柄杓（ひしゃく）の形。
北斗…北斗七星のこと。真北の方角の空に柄杓（ひしゃく）の形に並んで見える七つの星のこと。旅人が方角を知る頼りとした。

料

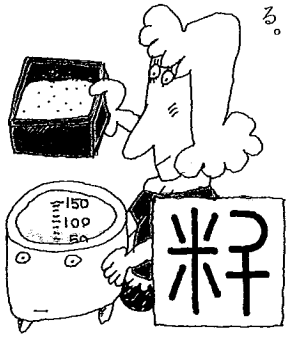
【4年】

10画

丶 ㇇ 米 米 米 料 料

とめる

くん　おん リョウ



なりたち 柄杓（ひしゃく）の形をかたどり、升の意味を表した斗と米との会意字。米の量を升で〝量る〟ことを表した字。〝米を量る〟ことから転じて、広く〝ものをはかる〟意味。また、〝はかられるもの〟〝食料〟、給料など。料の音は〝量〟による。

いみとじゅくご

▼ものをはかる。推し量る。
料簡（けん）…❶物事を推し量ったり考え出したりすること。用例悪い料簡を起こす。❷許すこと。用例どうか料簡してくれ。❶❷とも「了見・量見」などとも書く。
▼はかられるもの。
食料…食物。例食料品
材料…物を作る元になるもの。原料。
資料…研究や判断の元になる材料。例研究資料
▼代金。料金。
給料…労働に対して支払われる金（料金）。
使用料…物などを使う時に払う金（料金）。
料金…使用したことに対して支払う金。

よみかた 料理・衣料・飲料・見料・飼料・席料・損料